



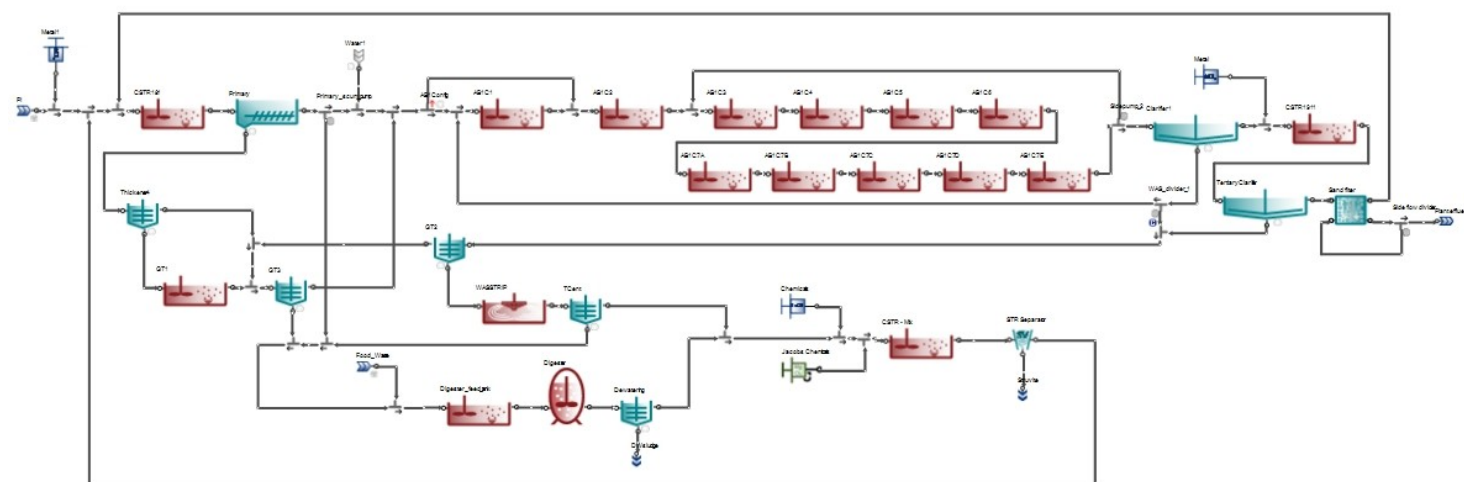
リン回収を行う先進的な処理場

薬品使用量の削減と ストルバイト回収の最適化

本プロジェクトの目的は、薬品使用量の削減とリン回収の強化を目標として、運転最適化のために先進的な処理場のフルプラントモデルを構築することでした。

規模: 98,000 m³/d、375,000 人口当量

処理場モデルの構成



モデルの利用目的と結果:

処理場運転戦略の最適化

本処理場は、米国において Ostara のストルバイト回収システムでリンを回収した最初期の施設の一つであり、その生成物は肥料として認可・市販されています。モデリングの目的は、液相での良好なリン除去率を維持しながら、アルミ塩の使用量を削減しストルバイト生産量を増やすよう運転を最適化することでした。プロセス最適化が運転コストの削減と製品販売による収益の向上に寄与した、モデル活用の好例です。



事例集リンク

dynamita.co.jp/ja/services

お問合せは、日本Dynamita info@dynamita.co.jp まで

